

研究だより

No. 3

押水第一小学校

令和4年 5月 31日

5月24日 3年研究授業(川畑先生)より

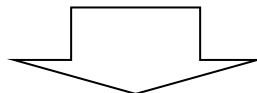
A訪問で、川畑先生に3年国語「こまを楽しむ」の授業をして頂きました。整理会で成果・課題・改善策について話し合いました。

視点1: 友達と対話し、課題を解決するために、二文目以降はいらぬのではないかと深めの発問を行い、児童の思考を揺さぶる。

成果	<ul style="list-style-type: none">・ 全員参加の手立てが工夫されていた。(丁寧な声かけ、聞き方や発表の仕方)・ 全文シートが効果的だった。答えの場所が視覚的に分かりやすかった。「段落のはじめ」が意識できた。・ ペア、グループが対話をしたり、内容を確認したりするのに効果的だった。
課題	<ul style="list-style-type: none">・ 深めの発問の後、少数派の理由も聞けると思考が深まるのではないかと。・ 線引きの段階でポイントを絞れず、全部引いてしまう子がいた。
改善策	<ul style="list-style-type: none">・ 線を引く箇所を直させる。・ 個人、ペア、グループの使い分けをする。

視点2: 本時の学びを自覚するために、今日の学習で「新しく分かったこと」を中心に振り返りを書かせる。

成果	<ul style="list-style-type: none">・ 毎時間の流れができていた。(前時の振り返り、本時の課題、ゴールなど)
課題	<ul style="list-style-type: none">・ 「わけは？」は答えにくかったかもしれない。・ 深めたい場でもう少し時間が取れるとよかった。(タイムマネジメント)・ まとめを自分の言葉で書く時間の保証があるとよい。・ 子ども主体と教師主導のバランス(常に挙手している子が主体的に学級を引っ張る。挙手できない児童への支援をどうするか…)
改善策	<ul style="list-style-type: none">・ 「わけは？」→「どこに書いてあった？」と問う。「○ページの(○段落の)○行目に…」など、発言の仕方の「型」をパターン化する。タイムマネジメントにもつながる。・ 前に出て指し示しながら説明させる。



明日から全員が実践すること

◎単元を通して、どこでどんな力をつけたいかを明確にし、単元をデザインする。